

全青年労働者は起つて東電争議応援委員会と協力せしめよ。
 東電東力の両会社は合同した奴等は約定の産業合理化を叫び三十名、後援委員と、
 しどろとたくらんくで居る。この敵を前に日頃より行つたに就く、力の勇敢な斗と此の
 から追つ降り出してゐる。た之に奮起し一万三千人、後援委員は三千余り、要求書を提出し、
 の目前につ、立ち合ふストライキ、火蓋は切られやうと、てゐる。見ろ、日、あはてふため
 た会社は警察の奴を刑罰して先頭立てつてゐる兄弟を毎日、様に奪ひ去つてゐる。た、
 青年はもう応援委員と備へた。俺達、兄弟は財布、衣をはたいて基金をいし、投出
 ゐるんだ。この不景氣に三十名の狼首、元は三十名の死傷問題だ。起つて労働者、先頭
 である俺達青年は東電の兄弟を勝たせよ。
 俺達が起つて東電の兄弟を勝たすこと、俺達青年労働者、威力を全資本家に示し、
 せしめることだ。

即時茶話会懇談会を用いて應援決議しよ
 青年労働者は応援委員会に参加しよ
 俺達青年の手で基金の山を築け
 東電争議応援城南地と委員会

別記(四)

